

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良県障害者総合支援センター わかくさ愛育園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月31日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日		～ 令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学低学年から高校生までの幅広い年齢、医療的ケアが必要な児などさまざまな状況の違った子どもたちを受け入れ一人一人に合わせた柔軟な対応をしている。	その日の健康状態や身体の状態に合わせ、活動への参加や内容、姿勢などを考え対応している。ADLにおいても個々に合わせた対応(トイレトレーニング、着脱、食事など)をしている。	関わるスタッフ全員が一人一人の状況をしっかり把握していただけるよう情報共有できるようにしていく。
2	多機能型の事業所のため切れ目なく支援していける。	幼児期から学齢期、生活介護と進まれても慣れたスタッフがすぐ近くにいることで情報共有や利用者、保護者の不安を軽減できる。	幼児期、学齢期、生活介護では支援のアプローチ仕方、環境、利用者・保護者のニーズなどが変わってくるためそれらに応じた支援・対応ができるようスタッフ間での情報共有や検討会を行いたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケアの必要な方の利用日数が限られること。	看護師が対応できる人数が限られるため希望に沿った利用をしていただけないことがある。特に学校の長期休みは終日利用になるため利用が制限される。	喀痰吸引等の研修を受け看護師以外のスタッフでも対応できることを増やしていけるよう努めています。